

**第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和6年度実績報告書**

**令和7年8月6日
福岡県新宮町**

【はじめに】

Ⅰ 総合戦略の位置付け

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「新宮町総合戦略」という。）は、新宮町人口ビジョンにおいて提示する将来展望を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条の規定により、新宮町における「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」に一体的に取り組むため、令和2（2020）年度を初年度とする今後5か年（令和6（2024）年度まで）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものとして策定しました。

令和7（2025）年度においては、現在の事業の進捗状況がコロナ禍からの回復期であり、取り組んでいる事業の継続性の観点から新宮町総合戦略の目標年度を1年間延長しました。

また、令和8（2026）年度からは、国が「地方創生2.0」基本構想で示す方針を踏まえ、地域の多様なステークホルダーや、地域の若者・女性を巻き込み、一緒になって地方創生2.0を推進するとともに、「デジタル田園都市国家構想総合戦略（令和4年12月23日閣議決定）」を勘案した新宮町総合戦略を継承しながら、総合戦略と新宮町総合計画の一体化を図ります。

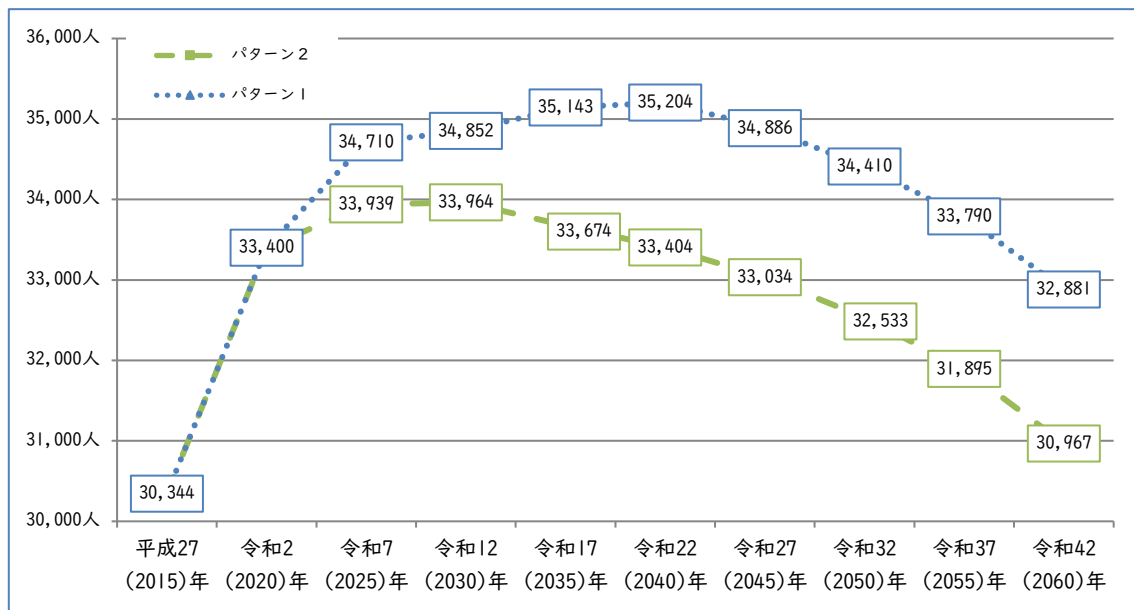
【人口目標及び現状】

1 人口目標について

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、将来にわたって活力ある地域社会を維持するために、出生率の向上と大幅な開発後も転入と転出が概ね均衡を保つよう各施策に取り組み、令和42（2060）年においても人口が32,000人を確保することを目的としています。

2 人口ビジョンと人口実績の比較

人口ビジョンと人口の実績の比較では、令和2（2020）年においては人口ビジョンのパターン1（※1）パターン2（※2）よりも増加していましたが、令和6（2024）年においては、令和2（2020）年よりも減少し、パターン2よりも低位で推移しています。



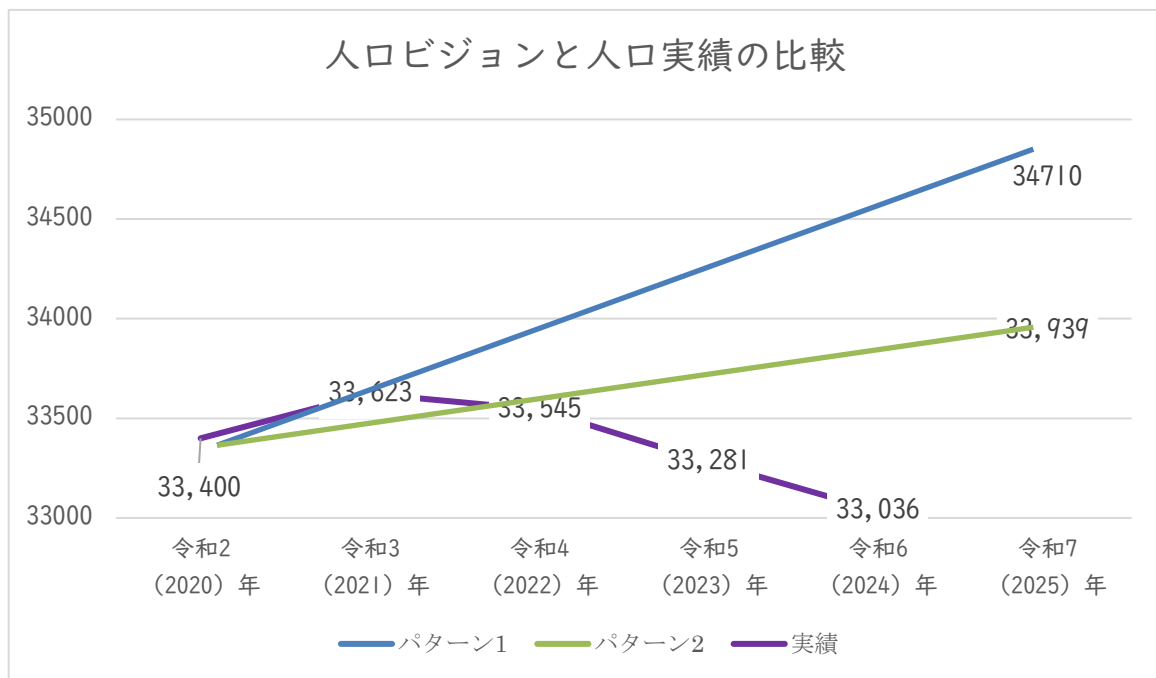


図1 人口ビジョン及び人口比較

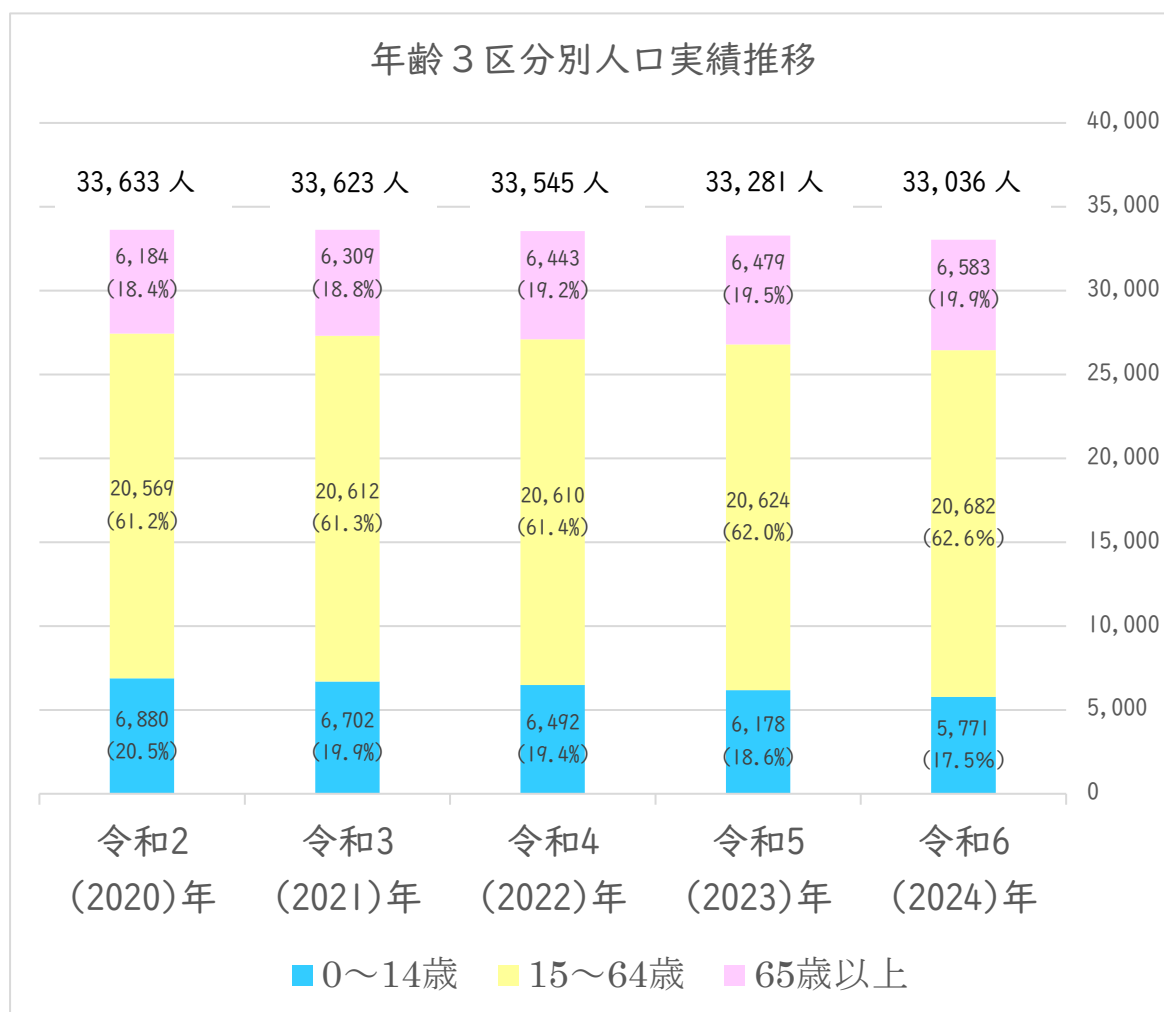
※1：「パターン1」は合計特殊出生率が平成27(2015)年度の1.80から段階的に増加し、令和22(2040)年までに人口置換水準2.07を達成しながら、開発に伴う転入超過傾向が維持される場合の想定。

※2：「パターン2」は合計特殊出生率が平成27(2015)年度の1.80から段階的に増加し、令和22(2040)年までに人口置換水準2.07を達成する一方、開発に伴う転入超過を見込まない場合の想定。

3 年齢3区分別人口による人口ビジョンの比較と推移

年齢3区分別人口の比較では、年少人口の減少に伴う人口減少が顕著となっています。

年齢区分	令和2 (2020)年		令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025)年	
パターン	パターン1 パターン2	実績	実績	実績	実績	実績	パターン1	パターン2
0～14歳	7,073	6,880	6,702	6,492	6,178	5,771	6,766	6,507
15～64歳	20,346	20,569	20,612	20,610	20,624	20,682	21,306	20,845
65歳以上	5,981	6,184	6,309	6,443	6,479	6,583	6,638	6,587
合計	33,400	33,633	33,623	33,545	33,281	33,036	34,710	33,939
0～14歳	21.2%	20.5%	19.9%	19.4%	18.6%	17.5%	19.5%	19.2%
15～64歳	60.9%	61.2%	61.3%	61.4%	62.0%	62.6%	61.4%	61.4%
65歳以上	17.9%	18.4%	18.8%	19.2%	19.5%	19.9%	19.1%	19.4%



【基本目標ごとの実績】

<基本目標１>

地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を育て活かす

（方向性）

新宮町総合戦略では、立地条件や労働力などの強みを活かし、課題を克服することにより、新たな企業誘致を推進していくとともに、既存の企業や商店のＰＲや育成にも取り組んでいきます。

また、農林漁業については、豊かな自然資源と好立地を活かした販路の拡大や担い手の確保にも取り組んでいきます。

地域産業の育成・活性化により、町内に雇用を創出し、町外からの新たな人の流れを生み出すことで、「しごと」と「ひと」の好循環を創り、持続可能な「まち」の活性化を図っていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
町内事業所 数（件）	1,155	1,250	1,282	1,327	1,378	1,421	1,462	1,200	1,500

（資料：市町村税課税状況等の調査 法人税納税義務者）

<基本目標２>

地域への新しいひとの流れをつくる

（方向性）

地域ごとに異なる課題に対応するため、それぞれの特性を踏まえた施策を進めます。人口増加地域においても、将来的なＵＩＪターンにつながる地域への愛着の形成や地元就職などの促進、シティプロモーション活動を図っていきます。

人口減少地域においても、個別の現状を踏まえて定住化を図り、様々な世代や来訪者との交流の場づくりを含め、新しい人の流れを生み継続させる仕組みや環境づくりを検討し進めていきます。

さらに、観光客や来訪者に向けた周遊の仕組みなどを提供し、地域経済の活性化を図る取組を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
平均日中滞在人口 (人)	26,969	27,485	28,522	28,581	28,161	27,918	27,757	28,800	28,800

(資料：地域経済分析システム)

<基本目標 3>

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる

(方向性)

若い世代の経済的安定を図るとともに、妊娠・出産・子育てに対する支援やこども・子育てで支援の充実を図っていきます。また、家族が働きながら安心して妊娠・出産・子育てができるよう、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図ります。

また、外国人が地域へなじむことができるよう、多言語による支援や地域との橋渡しができる体制の構築を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
合計特殊出生率 (%)	1.90	1.86	1.78	1.75	1.72	1.71	1.61	1.94	1.94

<基本目標 4>

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(方向性)

急速な人口増加により、都市構造が大幅に変化している中で、各地域の実情に沿った新しいコミュニティづくりを進めていくとともに、人口減少が進む地域においては、地域振興策の推進により、地域の魅力を高めていくことで、町民が将来にわたって安全・安心で豊かな生活を営むことができる町を構築していきます。

数值目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
自治会加入 世帯率(%)	82.0	80.4	80.0	83.2	79.1	77.7	77.4	90.0	90.0

【基本目標ごとの施策】

<基本目標Ⅰ>

地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を育て活かす

施策－Ⅰ 地域経済を牽引する企業誘致・育成に資する取組

本町の交通利便性など好立地の環境を活かした、流通業務施設、商業施設などの誘致や立地を積極的に推進するとともに、誘致や立地に必要な環境づくりに努め、地域を牽引する企業育成を進めていきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・土地区画整理事業を推進している下府地区及び三代地区については、順調に工事を進めることができました。また、県の東京事務所や関係機関と土地区画整理事業についての情報交換を継続して行いました。
- ・新宮スマートインターチェンジ（仮称）については、令和６年９月に準備段階調査箇所に選定されたため、周辺の土地利用計画についても、県と協議を進めました。
- ・企業版ふるさと納税で、６社より合計７４０万円の寄附があり、新宮町まち・ひと・しごと創生推進事業に活用することができました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
流通業誘致数 (件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (累積)	1 (累積)
商業施設誘致 数(件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (累積)	3 (累積)
その他企業の 誘致数(件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (累積)	1 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－２ 中小・個人事業者の生産性向上に資する取組

本町の好立地を活かした企業の誘致や消費拡大を図るとともに、商工会との連携を図りながら、既存商店や事業所の活性化のため、情報交換の場を充実させ、魅力づくりを研究していきます。また、町内産品のＰＲや特産品開発の支援を進めていきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・特産品の開発について、過去に開発した商品に加え、令和６年度は、「ホットサンド（５種）」、「アコヤカレー」、「アコヤ豚汁」、「アコヤ海鮮焼」を新たに開発し、販売を行いました。
- ・Ｑでんにぎわい創業プロジェクトにおいて、「相島海幸棒ずし」に続く新商品として「相島丼（漬け丼）」を開発しました。また、急速冷凍機と真空包装機を導入したことにより、今後はふるさと納税返礼品を含めたＥＣ販売向け商品の開発に取り組みます。
- ・企業振興協議会と商工会のそれぞれの総会や意見交換会において、情報交換の場を設け町内の求人・求職の情報を発信する仕組みを作り、運用を開始しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
特産品開発 数（品）	－	－	5 (5)	7 (2)	9 (2)	10 (1)	18 (8)	5 (累積)	12 (累積)
販路拡大の 件数（件）	－	－	1 (1)	3 (2)	6 (3)	7 (1)	7 (0)	10 (累積)	10 (累積)
情報交換の 場の創設数 (件)	－	－	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	4 (2)	5 (累積)	5 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－３ 創業や事業承継による地域産業の活性化に資する取組

地域経済の継続的な振興を行うためにも、地域発の創業を支援するとともに、ＩｏＴ等の新たな産業の活性化や、新たな働き方に合わせた環境を整備する必要があることから、商工会・金融機関などとも連携を図り事業承継や、新たに創業しやすい環境の整備を進めていきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・４町（粕屋町、篠栗町、久山町、新宮町）の行政と商工会で共同開催する創業塾に、町内から９名が参加し、５名が新たに創業しました。
- ・Ｑでんにぎわい創業プロジェクトで相島活性化協議会と九州電力株式会社が共同開発した「相島海幸棒ずし」に続く新商品として「相島丼（漬け丼）」を開発しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
新規創業の 数（件）	—	2 (2)	2 (0)	4 (2)	5 (1)	7 (2)	12 (5)	3 (累積)	7 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－４ 農業の振興、農商工連携等に資する取組

本町の特性を活かした農業環境を充実させ、農業の活性化に取り組むため、付加価値の高い特産品などの開発や農業者の育成・支援に努めます。

また、荒廃農地などの利用促進を図るため、未利用農地の活用とともに、新たな担い手などの育成に努めます。さらに、こどもたちへの地産地消の意識付けのために、学校給食での地元食材の活用などの推進に努めます。

① 令和６年度取組の概要

- ・認定農業者協議会や県、農協などと連携して、久留米市田主丸において果樹栽培の先進地視察を実施しました。
- ・有害鳥獣による農作物の被害を防ぐため、電気柵やフェンス設置に係る費用への補助率と補助金額の上限を拡充しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
認定農業者 数（人）	21	22	22	22	22	21	20	23	23
体験農園の 数（箇所）	4	4	5	5	5	5	5	5	5
ふるさと納 税の返礼品 における農 作物の売上 高（千円）	270,000	311,000	411,700	392,463	484,413	479,424	262,301	300,000	479,000
ひとまるの 里の売上高 （千円）	253,087	248,049	267,105	244,835	228,253	229,739	228,169	255,000	255,000
農業法人の 耕 作 面 積 （a）	0	0	19	19	41	28	28	40	40
有害鳥獣被 害額 （千円）	9,750	8,760	9,072	8,693	7,475	8,205	5,300	8,000	8,000

施策－５ 水産業の振興、農商工連携等に資する取組

相島における漁業経営の安定化をめざしつつ、漁業者の新しい漁業へのチャレンジを促進するため、漁協や漁業従事者と協議を進めながら、新たな漁業や直販などを検討するとともに、漁業の担い手の育成・支援にも努めていきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・国庫等補助事業を活用し、ガンガゼ駆除による藻場保全活動や、アカウニやクロアワビの種苗放流による漁場の再生活動を継続して行いました。また、いけま売りなどのイベントで、共同販売に対する支援を行いました。
- ・漁業の後継者や新規就業者の確保・育成の取組を支援するため、新たに「漁業担い手確保・育成支援事業費補助金」を整備しました。
- ・水産業振興のための交流拠点整備に向け、関係機関と協議を行いました。
- ・新規就業希望者とのマッチングイベントに参加し、担い手確保につながる支援を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
漁業従事者の所得（万円）	160	170	213	272	176	274	261	180	180
新規販路数（件）	－	－	1	0	0	0	0	2	2

<基本目標 2>

地域への新しいひとの流れをつくる

施策－Ⅰ 将来的な UIJ ターンや地元の就業の促進に資する取組

地域の少子高齢化も大きな課題ではありますが、同世代の偏りが大きい地域でも将来、急激な高齢化の到来が懸念されます。将来を見据え UIJ ターンなどで地元での就業や定住につなげるため、郷土への愛着の醸成に取り組めます。

① 令和 6 年度取組の概要

- ・コミュニティスクールと地域学校協働活動では、農家をゲストティーチャーに招いての農業体験や、相島の漁師による魚捌き体験活動を実施し、町の愛着醸成に向けたふるさと教育の充実を図りました。
- ・町広報誌や町ホームページだけでなく、新聞やフリーペーパー誌及びテレビ局と連携し、積極的に町の魅力を発信し、シティプロモーション実施数を伸ばすことができました。また、10月1日から町公式LINEの稼働を開始しました。
- ・かすやフェス、ふくおか離島物産展、福岡町村フェア、アビスパ福岡連携事業、ライジングゼファークオカ連携事業などにおいて、町内産品や観光PRを実施し、町の魅力を発信しました。また、新たな観光情報誌を2種作成しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
シティプロモーション 実施数（累計・件）	4	4 (4)	8 (4)	15 (7)	23 (8)	31 (8)	42 (11)	20 (累積)	40 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－２ 関係人口づくりや、地方創生を担う人材・組織の確保に資する取組

本町には大型商業施設などがあり、週末には町外から多くの人が訪れています。また新たに住民になった人も多くいます。町内居住者に限らず、新宮町での消費活動・地域活動・サークル活動などを行う人々をさらに町内の取組に関わっていただく仕組みづくりを進めます。

① 令和６年度取組の概要

- ・おもてなし協会主催の『新宮劇場』や子供向けの体験イベント『しんぐうキッズ自然塾・探検隊』等の参加対象者を町外者まで広げたことで参加者が増え、地域資源の掘り起こし、町の魅力発信に繋がりました。
- ・相島診療所の看護師として活動する地域おこし協力隊員を新たに２名任用し、相島の協力隊が３名となりました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
体験型イベント参加者数 (人／年)	1,088	1,978	—※	—※	323	891	1,179	1,150	1,150
地域おこし協力隊人数 (人)	4	4	5	5	4	1	3	4	4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

施策－３ 町内の人口減少地域(相島を除く)での定住促進や環境整備に資する取組

本町においては、国道３号東部の的野や立花口を中心とする人口減少が進む地域の地域活動の維持や活性化が求められています。そのため、幅広い世代の定住化に向けた仕組みや環境づくりに取り組むとともに、交流拠点の整備など地域の実情を踏まえた活性化や賑わいづくりの取組を進めます。

① 令和６年度取組の概要

- ・東京のふくおかよかこ移住相談センターで町勢要覧や観光パンフレットを配布し町のＰＲを行いました。また、県の移住ポータルサイト「福がお～かかし」で町の情報発信を行いました。
- ・民間企業が実施する３０代～４０代の結婚前後の結婚・移住希望者をターゲットに運営する結婚支援・移住サポートサイトに町の紹介記事を掲載しました。
- ・新宮町東部地区観光交流拠点施設「こみんかみかん」の利用促進のために、古民家夏祭りや、さげもんの飾り付けを実施しました。
- ・空き家の利用については、現状では町が直接空き家の利用斡旋等の取り組みを行っていないため、県が実施している福岡県空き家活用サポートセンター「イエカツ」を活用し、空き家に関する情報収集・発信に努めました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
古民家交流 拠点来場者 数(人/年)	—	—	—	3,484	3,354	3,776	4,812	1,000	4,000
空き家の利 用件(件)	—	—	—	0	0	0	0	2	2

施策－４ 相島における定住促進や環境整備に資する取組

相島活性化協議会を中心に、島の将来を見据えた「相島活性化プラン」の実現を島民との協働で進めるとともに、さらに地域振興につながる取組を進めていきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・相島空き家活用移住促進事業補助金について、補助対象者の年齢上限を見直し、対象者の拡充を行いました。また、空き家所有者及び移住希望者から５件の申請があり、補助金を交付しました。
- ・お試し宿泊施設「stay house^{なし}橋」においては、３２３人の利用がありました。
- ・漁村留学においては、小学生１２名、中学生９名を受け入れました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
空き家バンク マッチング件 数（件）	－	－	0 (0)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	6 (3)	5	5

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－５ 観光振興に資する取組

一般社団法人新宮町おもてなし協会を中心に商工会、農協、漁協などの関係団体と連携し、新たに開発された特産品や地元産品の販売などを通して観光PRを進めます。また、町内の自然、文化、産業などの資源や地域で活躍する人材を活用した観光イベントなどの実施を支援していきます。さらに、周辺市町と観光情報の発信やイベントを共催し、地元企業や町内活動団体との連携による観光振興を支援します。

① 令和６年度取組の概要

- ・ 東部地区の来訪者のため、立花山周辺情報の案内看板を登山者駐車場に設置し、こみんかみかんの案内看板を道路及び施設周辺に設置しました。
- ・ 体験イベント等の観光アクションプランに基づき、新宮町おもてなし協会と連携して集客・交流に取り組みました。また、新たな観光情報誌を作成しました。
- ・ 相島積石塚群の史跡内に繁茂する雑草の伐採作業及び海岸からの飛散ゴミを除去し、遺跡環境の保護を行いました。横大路家住宅については、維持管理事業として避雷針や自動火災報知器などの防災設備の点検を実施しました。また、国指定文化財として活用し適正に維持管理していくため、所有者と協議を行い、建物の寄附を受け、町所有となりました。
- ・ 福岡都市圏糟屋地区共同事業において「シティ情報ふくおか」に本町を含む糟屋地区の飲食店を掲載し、かすや特集の別冊版を刊行しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
観光ガイド登録者数（人）	0	0	0	0	1	0	0	5	5
多言語案内実施箇所数（箇所）	2	2	2	4	0	1	7	3	3
観光イベント広域連携数（件）	4	2	2	3	3	2	6	6	6
体験型イベント実施事業所（所）	20	13	—※	—※	4	4	9	25	25
宿泊施設数（件）	2	3	3	3	2	2	2	4	4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

<基本目標 3>

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる

施策－Ⅰ 結婚に資する取組

比較的若年層が多い本町では、地域の担い手として地域に残り、また、定着してもらう必要があります。このため、結婚を希望する人たちの出会いを支援します。

① 令和6年度取組の概要

- ・30代～40代の結婚前後の結婚・移住希望者をターゲットに運営する結婚支援・移住サポートサイトに登録し、町の魅力を掲載・発信しました。
- ・福岡県出会い・結婚応援事務局が実施する「出会い応援団体」の婚活イベントを町広報誌等で周知しました。また、福岡県離島振興協議会が主催する婚活イベント（島コン）の情報を発信しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
出会いの場 支援件数 (件)	1	2 (2)	3 (1)	5 (2)	7 (2)	8 (1)	11 (3)	3 (累積)	15 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－２ 健やかな子育て支援に資する取組

妊娠から乳児期の親の負担軽減を図るため、安心して出産し、子育てができるよう、妊婦、乳児の健康状態の把握や必要な相談・指導を行うことができる体制を構築していきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・新米おやこ教室などの事業を実施し合計８回、延べ９２人が参加しました。
- ・保健師の校区担当制を継続し、妊娠届出時における支援判断指標を新たに設けたことで、支援の必要性について判断を行うとともに必要に応じてケース検討を実施し支援を行うことができました。また、乳幼児健診の未受診者に対しては、乳児全戸訪問等で対応し、状況把握に努めてフォロー率を維持することができました。
- ・かんがるーひろばについては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための制限はすべて解除され前年以上に利用者数が増加しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
乳幼児健診未 受診児のフォ ロー率（％）	100	100	100	100	100	100	100	100	100
かんがるーひ ろば利用者数 (人)	15,472	14,344	4,677	3,254	6,174	7,981	10,230	14,000	14,000

施策－３ 子育て支援に資する取組

共働き世帯やひとり親家庭の増加など、新たな幼児教育・保育ニーズに的確に対応するとともに、就学前のこどもたちの健やかな成長と良好な子育て環境を充実していきます。また、子育てに関する負担などから就労等を断念する事がないよう、保育所等の充実を図ります。

① 令和６年度取組の概要

- ・宗像市、福津市、古賀市の６施設で病児保育の広域利用が可能となり、延べ２５６人の利用がありました。
- ・子育てに関する情報提供や各種教室・面談などのオンライン予約、予防接種ＡＩスケジューラーなどＩＣＴを活用した継続的なサポートが行える子育て支援アプリ「ぐーまっち！」の登録者数は８００人を超えました。
- ・児童虐待予防・早期発見のために、児童福祉の要保護児童対策協議会担当と連携して支援を行ったほか、児童相談所や警察、学校との連携を図りながら情報共有を行うとともに、町広報誌への掲載や、啓発物品の配布など啓発活動も行いました。
- ・多子世帯の保護者の経済的負担の軽減を図ることにより、安心してこどもを産み、育てることができる環境の整備のため、令和６年１０月から第２子以降の０，１，２歳の保育料を無償化しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
ファミリーサポート会員数 (人)	260	329	320	317	319	357	352	330	380
保育所待機児童数(人)	35	21	43	18	0	0	0	0	0

施策－４ 義務教育期間の子育て支援に資する取組

教育・学童保育に関する保護者のニーズを的確に把握しながら、教育・学童保育環境を向上させていくとともに、子育てに関する情報共有や悩みを解決するため、地域での子育てを支援します。

① 令和６年度取組の概要

- ・通学路について、「通学路交通安全プログラム」に基づき通学路の改善整備を進めるため、通学路安全推進会議を開催し、関係機関と現地調査を実施し、危険箇所の現状と今後の整備方針等について情報を共有し、着実に危険箇所の改善・整備を進めました。
- ・こども体験クラブを４回実施し、立花山登山・独鈷寺の見学や宿泊を伴う野外活動などを通して、町内に住むこどもたちの交流を深めることができました。
- ・ジュニアリーダーの活動については、町外開催の研修会への参加、こどもリーダー研修会、通学合宿、まつり新宮、スポーツ交流会や歓迎会などで活躍することができました。また、こどもリーダーへの指導を行うことで自身のスキルアップにもつながりました。
- ・子ども医療費とひとり親家庭等医療費助成制度について、令和６年４月から助成年齢を拡大し、通院・入院の自己負担に係る助成内容を拡充しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
通学合宿実施箇所数（箇所）	6	6	－※	－※	2	5	4	8	8
ジュニアリーダー等活動回数（回）	12	12	1	4	12	12	12	15	15
学童保育所待機児童数（人）	57	53	45	5	52	43	19	0	0
就学援助支給基準（倍） ※生活保護基準をベースとする	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「－」で表記。

施策－５ 男女、多文化な人材がともに参画し支え合う環境づくりに資する取組

女性の社会進出が進む中、自らの意思・選択に応じて働くために、労働環境や職場風土など、働きやすい環境づくりや女性の再雇用について推進していくとともに、働く人々が仕事と家庭の両立ができる環境づくりを支援していきます。

また、外国人が増加することが見込まれることから、お互いの文化を尊重した地域社会の創造に努めます。

① 令和６年度取組の概要

- ・まつり新宮と人権フェスティバルで啓発物品等を配布しました。また、男女共同参画週間では役場とＪＲ新宮中央駅自由通路に懸垂幕等を設置し啓発活動を行い、町広報誌に男女共同参画推進計画を掲載しました。
- ・年間を通して新米おやこ教室とハロー！ベビークラス（パパママ教室）を実施し、合計 ９２人（うち男性４４人）の参加がありました。
- ・障がい者が就労しやすい環境づくりの支援として、福津市・古賀市・新宮町障がい者地域支援ネットワーク協議会の就労支援部会で、就労支援セミナーと事業所向けセミナーを実施しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
町内企業への 男女共同参画 啓発件（件）	2	—	0 (0)	0 (0)	3 (3)	5 (2)	5 (0)	7 (累積)	9 (累積)
町民への男女 共同参画啓発 件数 (件／年)	0	—	2	3	5	4	4	1	2
男性のパパマ マ教室参加者 数（人）	48	36	32	39	51	48	44	55	60

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

<基本目標4>

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

施策－Ⅰ 高齢者の就労や活動参画など生涯活躍に資する取組

定年後も、健康で自立した生活を送りたい高齢者の就業や、地域活動への参画を支援し、生涯活躍のまちづくりを進めます。また、ひとり暮らしの高齢者などへの声かけや、健康教室などの行事への機会を提供し、社会参加を支援します。

① 令和6年度取組の概要

- ・就業機会の提供により、高齢者自身の生きがいや生活の充実、地域貢献の活性化を図ることを目的としている新宮町シルバー人材センターに継続して助成金を交付しました。また、町広報誌にシルバー人材センターに関する記事の掲載や、65歳到達時の介護保険被保険者証交付会資料郵送と併せてシルバー人材センターへの加入を促すチラシの配布など、加入促進を図る取り組みを行いました。
- ・介護予防に取り組むために組織された住民主体の団体15団体に対して、地域介護予防活動助成金による助成を行いました。また、介護予防サポートポイントの対象事業や地域サロンへの問い合わせが増えるなど、町民の介護予防への意識の向上がみられ、サポートポイントの申請者が昨年度より増加しました。
- ・福岡県生涯現役チャレンジセンターやはつらつコミュニティなど、高齢者の就労を応援する団体のチラシ設置や講演会等に関する情報を町広報紙で紹介しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
シルバー人材 センター会員 稼働率(%)	100	90	90	93	92	88	80	100	100
介護予防活動 の参加人数 (人)	943	924	518	455	461	666	574	1,000	1,000

施策－２ スポーツ等の健康まちづくりに資する取組

「スポーツ推進（振興）計画」の策定を進め、健康でいきいきと活動できる機会や場の提供をしていきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・「いきいき・運動健康フェスタ」と「ヘルシーウォーク２０２４＆さわやか軽スポーツ」を開催し、その中でモルックの普及啓発を行いました。
- ・新たにライジングゼファーフクオカと連携協定を締結しました。また、町内ジュニアスポーツクラブの指導者・保護者に対して研修会を実施しました。
- ・アビスパ福岡フレンドリータウン応援デーとライジングゼファーフクオカフレンドリータウン応援デーを町スポーツ協会所属のジュニアサッカー団体、中学校サッカー部、新宮高校サッカー部、ジュニアバスケットボール団体とそれぞれ連携して行いました。
- ・スポーツ振興くじ助成金と企業版ふるさと納税を活用し、杜の宮グラウンドの夜間照明をＬＥＤに改修しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
プロスポーツ チーム連携事 業数（件）	－	－	１	１	１	２	２	３	３
ウォーキング イベントの参 加者数（人）	４７１	４７０	－※	－※	２８１	３０９	２８５	５００	５００

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「－」で表記。

施策－３ 防災・防犯等の安心して暮らせるまちづくりに資する取組

近年の局地的集中豪雨などの大規模な自然災害の発生を踏まえ、災害に強いまちづくりを行うため、地域防災計画や防災マップ（ハザードマップ）を適宜見直し、住民の安全確保や支援に取り組んでいきます。また、定期的な防災訓練や自主防犯活動などを支援するとともに、防災・防犯の体制づくりや施設の整備・改修を計画的に実施していきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・消防活動の充実を図るため、消防用ホース等の消防資機材の更新やホース乾燥塔・防火水槽改修等を実施しました。また、新入団員確保のため、まつり新宮会場で団員加入促進の啓発活動の実施や、消防団広報誌の全戸配布により、消防団の活動や活躍をアピールしました。
- ・防災専門官による地域での防災講話を１９行政区で２０回実施し、延べ４７７名の参加がありました。その中で自主防災組織の必要性を説明したことで、令和７年７月に１行政区において自主防災組織が設立する見込みとなりました。
- ・町内で多発している自転車盗難や全国的に急増しているニセ電話詐欺に特化した啓発活動を、警察署や粕屋地区防犯協会と連携し実施しました。また、既存防犯灯のＬＥＤ化や新規設置を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
自主防災組織の数 (団体)	7	7	8	11	12	12	12	12	14
消防団員数 (人)	238	238	239	240	226	223	228	246	246
自主防犯団体の組織数 (団体)	3	3	3	3	3	4	4	6	6

施策－４ 地域コミュニティの維持や、まちづくり活動の活性化に資する取組

今後のまちづくりを進めるに当たり、新興住宅地区や高齢化の進む地区などの地域の特性を踏まえたコミュニティの在り方について検討し取り組んでいきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・まちづくり活動支援団体に１団体が新規登録されました。また、設立の趣旨に共通点がある団体間において交流や連携している事例があるため、必要に応じて、団体同士の連携に対する支援を検討します。
- ・毎年実施している相島の史跡をめぐる文化財ウォークは、天候不良により開催できなかったため、文化財案内ボランティアなどの人材発掘・育成の機会を得られませんでした。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により町主催の協働のまちづくり研修の実施が困難となったため、今後は、福岡県や関係機関が実施する研修会や講習会などの情報を関係団体に周知していきます。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
まちづくり活動支援団体登録数（団体）	23	20	21	20	21	22	23	30	30
協働のまちづくり研修参加人数（人）	103	123	－※	－※	0	0	0	150	150

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「－」で表記。

施策－５ 自然環境の保全やＳＤＧｓ等の持続可能な社会づくりに資する取組

地域住民、関係団体、行政などの協働による保全活動を積極的に推進していくとともに、自然環境を活用した環境整備を検討し推進します。

① 令和６年度取組の概要

- ・雨天のため新宮町クリーン作戦の海岸清掃は中止となりましたが、原上区と相島区では、別日で実施されました。また、企業、ボランティア団体など１６団体が合計３８回清掃活動を実施し、各団体に対して、袋の支給やごみの回収を行うなどの支援を実施しました。
- ・新宮海岸の松林を保全するため、筑前新宮に白砂青松を取り戻す会と協力し、楯の松原保全活動を全７回計画しました。クリーン作戦時と楯の松原感謝デーの活動実施日は荒天のため中止となりましたが、新宮中学校、新宮高校、福岡工業大学等と連携して、楯の松原保全活動を５回行うことができました。
- ・森林の持つ公益的機能を十分に発揮させるため、福岡県の荒廃森林整備事業を活用し、原上区、立花口区、的野区内にある１５年以上整備されていないスギ・ヒノキ林に対して森林の荒廃を防ぐための整備を行いました。
- ・まつり新宮において、特定外来生物や環境課題に対するパネル展示などを行い、ＳＤＧｓを含め環境に関する啓発や、新宮東小学校で、ＳＤＧｓと町の環境施策の取り組みなどについての学習会を行いました。
- ・毎月の町広報誌でゼロカーボン関連の記事を掲載しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
新宮町クリーン作戦参加者数（人）	2,200	1,900	130	220	260	90	220	2,400	2,400
松林保全活動参加者数（人）	833	752	107	184	468	299	481	840	840
森林整備面積（ha）	46.1	14.3 (14.3)	25.4 (11.1)	32.6 (7.2)	40.1 (7.5)	44.9 (4.8)	54.2 (9.3)	130 (累積)	135 (累積)
ＳＤＧｓ啓発回数（件）	—	—	4 (4)	5 (1)	8 (3)	12 (4)	17 (5)	5 (累積)	16 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－６ 地域交通等のインフラの維持や最適化に資する取組

利用者ニーズや外国人の来訪を踏まえながら、最適で安定したバスや渡船の運行、利用しやすい公共交通機関としての環境整備に取り組んでいきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・コミュニティバスについては、路線変更やバス停の修繕にあわせローマ字表記を追加し、バス車内と主要なバス停に多言語によるバスの乗り方を表示しました。また、ふれあい交流館への新規路線を追加しました。
- ・高齢者運転免許証の自主返納事業では、５３件の支援を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
案内表示の多 言語化実施件 数（件）	－	－	3	3	4	2	7	10	10
西鉄新宮駅乗 降客数 (人／日)	1,422	1,428	1,172	1,222	1,364	1,464	1,603	1,600	1,600

施策－７ 地域におけるＳｏｃｉｅｔｙ ５．０の推進に資する取組

産業構造の変化に柔軟に対応できるよう、本町の産業への情報提供などを進めるとともに、行政の機能も新たなサービスなどに対応し利便性のよい仕組みの導入などを進めていきます。

① 令和６年度取組の概要

- ・業務の効率化、職員の負担軽減のため、自治体生成ＡＩ「zevo」を導入しました。
- ・地域活性化起業人制度を活用し、ＡＫＫＯＤｉＳコンサルティング株式会社からさらに社員が１名派遣され、２名体制で市内におけるＩＣＴの活用やＤＸを推進しました。
- ・立花小学校と相島小学校では、福岡工業大学との包括的連携に関する協定に基づき、プログラミング教育のベースとなる論理的思考や最適化・統計に関する体験授業を行いました。また、新宮東小学校では「東っこフェスタ」において小学生へ向けたプログラミングの体験イベントを実施しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	現在値 (R6)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
オープンデータデータセット数（件）	4	4	4	5	5	5	5	10	10
未来技術活用事例件数（件）	—	—	1 (1)	4 (3)	4 (0)	5 (1)	6 (1)	5 (累積)	5 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。